

松本市西部地域公共交通協議会

平成20年6月6日設置
平成21年3月24日連携計画策定



概要

合併により拡大した市域に対応し、交通空白地域の解消と効率的な公共交通手段を確保するため、既存の公共交通機関を最大限に活用しことを前提に、実現性の高い新交通システムの構築を目指し、総合連携計画に基づいた事業を実施します。

○コミュニティバスの実証運行及びそれに伴う事業

- ①運行車両
小型車両(9人乗りジャンボタクシー)によるコミュニティバス方式
- ②運行ルート
平成20年度において試験運行を実施したエリアを基本に、住民要望等の課題を整理したうえで、4ルートを設定
- ③評価・検証
実証運行に関わる評価・検証事業などを併せて実施

○既存公共交通改善のための事業

- ①廃止代替策としてバスを運行
 - ・梓川線全線
 - ・空港・朝日線の信州まつもと空港⇄上今井の区間
- ②評価・検証
一定期間における乗降調査を実施し評価・検証を実施

○評価検証業務委託事業

連携計画に基づき事業を進めるにあたっての評価検証の実施

コミュニティバスの運行



梓川線

空港・朝日線

